

会議録

- 会議の名称 令和5年度第3回座間市環境審議会
- 開催日時 令和5年10月5日(木) 午後3時00分～午後4時40分
- 会議場所 座間市役所4階 4-2会議室
- 出席者
 - 委員 田中会長、村山委員、藤倉委員、鈴木委員、西委員、西海委員、吉井委員、津田委員、室星委員
 - 事務局 暮らし安全部長、ゼロカーボン推進課長、温暖化対策係長、廃棄物減量係長、温暖化対策係員2名、生活安全課長、環境保全係長、リユース推進課長、クリーンセンター長、クリーン活動係長
- 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 傍聴者 なし
- 審議
 - (1) 座間市環境基本計画年次報告書(令和4年度報告案)について
- 報告
 - (1) 脱炭素ロードマップ策定事業について

【配布資料】

- ・次第
- ・資料1: 座間市環境基本計画年次報告書(本編)(令和4年度報告案)
- ・資料2: 座間市環境基本計画年次報告書(資料編)(令和4年度報告案)
- ・資料3: 座間市環境基本計画年次報告書(令和4年度報告案)に対する意見書
- ・資料4: 脱炭素ロードマップ策定事業について
- ・資料5: 第2回座間市環境審議会(書面)の意見書の取りまとめ

議事の概要

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 審議

(1) 座間市環境基本計画年次報告書（令和4年度報告案）について

- 4 報告

(1) 脱炭素ロードマップ策定事業について

- 5 閉会

～事務局から審議（1）について説明～

・田中会長

それでは資料1について、ご質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。

・吉井委員

市長の御挨拶ページについて、昨年度はDXについて記載されております。市では、組織として意識的にDXをどのように取り組んでいますでしょうか。

9ページの計画の柱の表が記載されておりますが、昨年度はA3のページがありました。環境目標値が記載されていて、非常に分かりやすかったのですが、今回は入れないのでしょうか。

18ページの地下水採取の進捗状況と評価ですが、地下水採取事業者の数と事業者の分類と割合はどのようになっていますでしょうか。

29ページの草刈りの写真ですが、昨年度と同じ写真が掲載されていますが、なぜでしょうか。

34ページの廃棄物について、一般廃棄物として、事業系と家庭系の割合が分かるグラフがあると分かりやすいと思いますので、入れる検討をはいかがでしょうか。

35ページの資源物排出状況、これは37ページにも同様のグラフが掲載されていますが、この二つのグラフは同じ職員が作っていますでしょうか。もし別々の職員が作っているとなれば、データの管理はどのようにしているのでしょうか。35ページの平成28年数値は7243トンで37ページの平成28年数値は7242トンとなっています。

・事務局

6点質問いただきました。まず1点目のDXについて組織の中でどのように取り組んでいるかですが、かなりDX化に向かって全庁的に取り組みが進んでいると感じます。ゼロカーボンの担当課としても積極的に取り入れて、変革していかなくてはならないと意識を持っております。具体的には、これから電子決裁を取り入れていくなどがあります。また一人

一人が意識を高めていく必要があると認識しております。2点目の計画の柱のページがないことについて、ページが抜けておりました。大変申し訳ありませんでした。また差し込んだ資料をお配りするようになります。3点目の地下水採取の件につきましては、後程担当課から説明します。4点目の草刈りの写真について、昨年度と同様のものを掲載していることですが、写真は担当課に確認した結果、写真を撮っていない場合があります、その際には、前回と同様の写真を使用することになります。5点目の廃棄物の関係は後程担当から説明します。6点目の資源収集について、データの管理は各担当課で行っていますが、年次報告書を作成する際に、グラフを作成するのはゼロカーボン推進課の担当職員で行っております。数字の違いは誤入力であります。大変申し訳ありませんでした。また改めて修正したものを御提示します。

・生活安全課

生活安全課より、地下水採取の事業所数と分類について説明します。まず事業所数については、28事業所ございます。分類については、日本標準産業分類でいう製造業、サービス業、様々な業種に及んでいます。

・田中会長

先程の質問の中で、事業系と家庭系の割合についてもありましたが、それについてはいかがでしょうか。

・生活安全課

現在そこまでは詳細に把握しておりません。改めてお伝えします。

・田中会長

わかりました。それでは廃棄物の関係はいかがでしょうか。

・事務局

34ページの記載している内容が、環境省として一人一日当たりの家庭ごみを代表的な数値として出しています。下に事業系と家庭系の総量の部分を掲載しております。この経過ということで推移のグラフがあれば分かりやすいということですが、掲載できるかどうか検討します。

・田中会長

ありがとうございます。追加でご質問はありますか。

・吉井委員

先程話したグラフの数値が違う件について、課内、部内、そして市役所全体のIT管理に非常に興味を持っています。それぞれの担当が別々のグラフを作成していくことはあまりよろしくないと思います。データをどのように数値を切り上げるか、末尾を処理するか、というルールが出来ているとAさんが処理した場合とBさんが処理した場合が一緒になるはずですが、別の言い方をすれば、Aさんが処理した内容を共有しておけば、Bさんは処理する必要がなくなります。データを作る人、発展させる人、使う人もIT管理の中で位置づける、つまり組織の中で作っていくことが大事だと考えます。

・田中会長

委員がおっしゃるように、業務の進め方など注意し、取り扱っていただければと思います。それから、一つ気になるのは29ページの写真が同じ件について、これには令和4年5月撮影となっていますが大丈夫ですか。

・事務局

問題ありません。

・田中会長

わかりました。それから7、8ページが抜けていると指摘されましたが、これには環境目標値が入っていたため、あった方がわかりやすいのではないかと思います。それについてはページを差し込むのでしょうか。

・事務局

A3の7、8ページは抜けておりましたので、こちらを含めたデータを改めて提示します。申し訳ありませんでした。

・田中会長

その7、8ページに環境目標値は変わらず入っているということですか。

・事務局

入っております。

・田中会長

それであれば、問題ありません。他に質問ありますでしょうか。

・西委員

18ページの市内地下水採取量について、以前に座間市では家庭で水道を使う方が非常に減ってきて節水となっていました。もっと水道を使ってほしいとの話がありました。この目標値は、令和4年度は減っていますが、これではよろしいのでしょうか。保全の為に、これ以上採取量が増えない方がよいのか。地下水をどのように保全するかの方向性を記載した方がよいと思います。

・田中会長

他の委員でご質問はありますか。

・藤倉委員

70ページに指標がまとめてありますので、こちらを見ながらになります。まず、緑化イベントへの参加人数が、このページを見るとBとなっていますが、20ページを見るとグラフは0になっています。どのようにB評価にしたのでしょうか。イベントの形式が変わったのであれば、掲載しない、もしくはその説明を入れた方がよいかと思います。次に全体的にですが、コロナ禍の評価は良いと思いますが、市民がしたこと、行政がしたこと両方に評価されています。これが少し中途半端なのではないかと思います。例えば、71ページの下の方にある不法投棄防止パトロール実施状況、実施回数は、市民ではなく県と市が行った事業への評価で、コロナで回数は減少したが回復したと評価しています。それであれば、行政で実施したものを評価対象とすればよいのですが、38ページについても令和3年にコロナの影響で減り、令和4年に回復したのであれば、コロナ禍の影響評価を入れるべきだと思います。また、67ページの情報提供実施状況では、令和元年までに比べるとコロナの影響であれば、コロナ禍の影響評価を入れるべきだと思います。逆に、70ページの進行管理指標の関係ではないのですが、全体を通して市民取組指標があります。18ページに緑化イベント・自然観察会などへの参加状況が掲載されています。ここにコロナ禍の影響評価を入れてもよいのではないかと思います。進捗度評価欄がないのですが、コロナ禍の影響評価だけでも入れてみてはいかがでしょうか。62ページも市民取組指標として、学習会・自然観察会などへの参加状況とあります。これについても同様のことが言えます。

70ページに戻りまして、計画の柱1-2湧水・地下水の保全と活用の地下水位の状況について、B評価とされていますが、「※令和2年度から新たに指標と定めたため、進捗度の評価はありません。」となっています。これがよく分かりません。最後に、資源物収集のグラフについて、令和2、3年と増えて、令和4年が減っている理由は何でしょうか。資料編の149ページを見ると苦情受付件数とあります。全国的には令和2年が増えています。なぜなら、その年はステイホームの状況で家にいました。なので、騒音とか悪臭の苦情が増え、それが全国的な状況ですが、座間市の場合は令和3年が最も高いです。なので令和3年の在宅時間が増えたのかなと思いました。そうすると、先程の資源物についても在宅にいるとき

には頑張ってリサイクルに努めたが、徐々に出勤するようになり、減少したのかなとも思います。もし分析しているのであれば、苦情が増えている状況と一方で資源化ごみの関連性で何かあれば教えてください。

・田中会長

ただいま、西委員と藤倉委員からご指摘をいただきました。それでは回答をお願いします。

・事務局

西委員からいただいた御意見につきましては、どのような方針なのかを記載するよう検討します。藤倉委員からいただいた内容で、各取組が行政側なのか市民側なのかによつてのコロナ禍の影響評価が中途半端であるとのことについて、改めて全体的に見直します。市民取組指標の中でも、コロナ禍の影響評価を記載できそうなものを精査して、分かりやすくします。

資源物の収集量につきましては、令和3年度に座間市において、ご存じかもしれませんが剪定枝の分別収集、DX収集を活用して実施したことが大きく、前年比で500トン前後収集量が増えました。在宅時間の増加もありますが、資源物の収集量からすると剪定枝の分別収集が最も大きな要因です。令和4年度は何が減っているのかでは、あくまで市が収集した物のみのグラフになりますので、その中で減っている物としたら鉄類と剪定枝が減っています。コロナ禍の落ち着きがあるのかもしれませんが、断定することはできません。あくまで推察です。また座間市では「おいくら」というリユースプラットホームがあります。これは市民が粗大ごみを出す前にフリーマーケット的な場所で提供し、リユースとして市民と業者が協力して出せる仕組みを令和4年から始めたので、それも影響しているかもしれません。

・藤倉委員

緑化イベントの参加人数の件についてはどうなりますか。

・事務局

グラフ数値0をどのように評価するか検討します。

・藤倉委員

21ページの芹沢公園では用地取得した後に評価していないので、なくすことも一案かと思えます。

・田中会長

緑化イベントは令和5年度も形式などは変わらなかったのですか。

・事務局

令和5年度も緑化イベントは実施なく、緑化まつりは植樹式のみです。

・田中会長

今後コロナ前に形式が戻ることはないのでしょうか。

・事務局

今後コロナ前に戻る可能性はあります。

・田中会長

わかりました。芹沢公園の用地取得は完了したとのことで、事業は終了したが、緑化イベントは事業が終了しているわけではないので、今後検討してください。地下水の水位の表記はいかがでしょうか。

・事務局

表記を削除します。

・田中会長

わかりました。他にご質問ありますか。

・津田委員

35ページのリサイクル率について、電化製品の軽量化と包装の簡略化で減少と記載されています。包装の簡略化はごみの減少につながりますが、電化製品の軽量化は率算出に影響しないため、リサイクル率の伸び悩みには関係ないと思いました。

・田中会長

何か意図があるようであれば、後程回答してください。他にございますか。ないようであれば、回答をお願いします。

・事務局

リサイクル率を示すベースの重さがt(トン)であるため、そもそもごみ自体が軽くなっているのではないかと、電化製品もかなりコンパクトになっているので、それも要因なのではないかというところで掲載しています。

・田中会長

ありがとうございました。また資料1について、他にも意見があれば、意見書を活用して

後日提出してください。それでは資料2の資料編で、質問ありますでしょうか。

・吉井委員

4点ほどあります。それぞれ、数値に異常があることについて、原因は掴んでいるか、対策はどうするかが基本になります。86ページの二酸化窒素の測定結果についてです。東原プール前は非常に高いです。過去3年間も高数値でした。この原因と対策をお示してください。104ページのpHについて、鳩川の中流下流域が高いです。特に下流の3月ではpH9.9と危険数値10を超えそうな勢いです。この原因と対策をお示してください。105ページの大腸菌数について鳩川、目久尻川双方の上流で高いです。この原因と対策をお示してください。112ページのBODについて、鳩川のBOD、9月が異常数値となっています。ここまで突出して高いのは気になります。この原因と対策をお示してください。ページが前後して申し訳ないのですが、102、103ページの地図について、PFOS・PFOAの調査地点を鳩川は平和橋、目久尻川は寒川橋を選んでいますが、理由は何でしょうか。PFOSは全国的に問題になっています。生産が中止になっており、使用が禁止になっています。大型の消火器の使用が問題になっておりまして、米軍から流出しているという疑念を抱かせる情報が飛び交っていますが、座間市ではどのように考えておりますか。

・生活安全課

86ページの二酸化窒素の測定結果で、東原プール前の測定値が高いことについて、東原プールは246に近いことがあり、自動車からの排ガスが主な原因と考えられます。対応については、現在国、県で様々な大気汚染対策が講じられております。直近で挙げますと、県で自動車排出窒素酸化物と粒子状物質の総合削減計画がすすめられており、市としても、その施策に基づいて対応しております。またゼロカーボン推進課におきまして、電気自動車の補助金と急速充電器の貸出しを実施しており、二酸化炭素の排出を抑えるものではありませんが、電気自動車の普及促進は窒素酸化物の削減に寄与されるものであります。104ページのpHについて、鳩川のpHが高いことですが、本件については県とも共有しております。水質汚濁防止法上、河川の常時監視は県の管轄になりますので、今回の件について分析をいただいております。まず、pHの数値が条件によって10付近になることは十分考えられるとのことでした。また、pHが高い時はDOも高い数値になるとのことです。それは藻の光合成が考えられるとのことでした。本件についてもpHと同様、DOも高くなっています。105ページの大腸菌について、鳩川は座間市の上流の相模原で同様の傾向が見られ、県からは相模原からの影響も大いに考えられるとのことでした。目久尻川については、調査地点の上流付近は古い民家があり、生活排水の流入であることが考えられるが、原因を究明するのは非常に難しいと見解をいただいております、引き続き常時監視をしていくとのことでした。112ページの鳩川のBODの数値が高いことについて、県からは調査自体の精度の管理は問題がなかったのかと指摘を受けました。具体的には、調査時にバケツを静かに入れない

と泥などの巻き上げで数値が上がってしまうことがあるとのことで、次回以降採取のときには十分注意するようにとのことでした。その指摘を受けて、改めて測った際には0.6、0.2の数値でした。引き続き、注視してまいります。102、103ページの調査地点の選定理由で、鳩川の平和橋は令和3年の県の調査において、基準値を超える数値が出ており、常時監視することとなりましたので選定しました。目久尻川の寒川橋については、河川の下流域を調査することで河川全体の評価が可能とのことで、地下水採取委員会の有識者の意見を参考にして選定しました。最後にPFOSに関する米軍との因果関係について、現時点では県の調査で暫定目標値を超える数値が出ていますけれども、キャンプ座間との因果関係はわかりません。現在は地下水採取審査委員会の有識者の意見を参考にし、市内全域における有機フッ素化合物の状況把握に努めているところでございます。

・田中会長

はい。それでは今の回答について、補足でご質問はありますか。

・藤倉委員

吉井委員の指摘について、わたくしも思っていたところです。大腸菌数について、生活排水が事実上入っているのではないかとこの流域は汚水処理率、つまりトイレが汲み取りだとか、単独浄化槽の家がまだあるのか、上流の相模原市に市街化調整区域で合併浄化槽が多いのか、などについてはどうなのでしょう。

・生活安全課

座間市内の状況について、詳細な情報は持ち合わせていないのですが、少なくとも数件ほどは浄化槽を使っている家庭があることは間違いありません。相模原市の状況につきましても、詳細な情報は持ち合わせていません。

・藤倉委員

合併浄化槽でもしっかり維持管理をすれば、お風呂の排水などは入り得ないのですが、維持管理が悪いだとか、下水道管はきいているが中々つないでくれない家庭があると、生活排水が河川に流入することは考えられます。BODは17の数値を除けば、それほど高くないのに対して、大腸菌数がやや高めなので、直接し尿が入っている家がある恐れがあります。

・田中会長

下水道の状況が資料1にありましたよね。

・事務局

41ページです。

・田中会長

はい。令和4年度は97.9%とほとんど接続しております。それを踏まえると102, 103ページの下水道未接続、し尿汲み取り等の家庭をプロットしてみるのはいかがでしょうか。

他の可能性として、畜産農家がどのくらいあるか、しっかり処理できているかを調査するのもよいかもしれません。そうすると推測もしやすいのではないのでしょうか。105ページの大腸菌数について、鳩川と目久尻川の上中流を比べると目久尻川の方が高いです。相模原市の上流側に何かあるかもしれません。相模原市と一度情報共有するのもよいと思いますので、検討してみてください。

また114ページのPFOSの調査結果表は101ページの河川における有機フッ素化合物(PFOS、PFOA)の調査の次に記載した方が関連付くと思いますので、こちらも検討してください。104, 105ページの調査地点について、両河川の上中下流に橋の名前も記載するとよいと思います。

それでは追加のご意見がありましたら、資料3の意見書を提出していただくようお願いいたします。審議事項については以上とします。続きまして、報告事項の説明をお願いします。

～事務局から報告(1)について説明～

・田中会長

報告ありがとうございます。多くの意見が出ました。これらを元に来年の事業として、進めていってください。何か追加でご質問はありますか。

ないようですので、審議会としての意見交換はここまでにさせていただきます。それでは、事務局にお戻しします。よろしくお願いいたします。

・事務局

長時間にわたってありがとうございました。以上をもちまして、本日の予定、全て終了となります。本日、限られた時間内の議論となりましたので、先程会長からもお話いただきましたけれども、資料3の意見書で、もし御意見あれば10月13日までに事務局に御提出いただけたらと思います。次回の審議会は、2、3月開催を予定しておりますが、改めて御連絡致します。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第3回座間市環境審議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。